

## 重点施策6 充実した人生を送るための生涯学習の振興

### 【施策方針】

八幡浜市教育委員会教育基本方針に基づき、生涯学習の観点に立ち生涯学習推進体制の整備に努め、市民の自発的な学習意欲の高揚と多様化・高度化する学習要求に対応する。

また、生涯をとおして充実した学習活動を展開できるよう必要に応じて学習の機会・学習の場を提供するとともに、支援・協力する。

### 【実施状況】

#### (1) 連合婦人会、連合青年団等団体の育成

##### ① 連合婦人会

- 高齢化社会を迎え、女性の学習へのあり方を考え、地位の向上に努めた。
- 青少年の健全育成を図るため、明るい家庭、社会づくりと環境の浄化に努めた。
- 各種団体との連携を密にし、女性のふれあいの場、活動の輪を広げるように努めた。

(具体的内容)

5月14日・15日のやわたはま国際MTBレースで、うどん作りに、1月には、市民健康マラソンで、ぜんざい作りに参加した。

9月には、えひめ国体ソフトボール競技リハーサル大会で、ちらし寿司の無料ふるまいをし、10月には役員研修で西予市の龍沢寺を見学し、会員の交流を図った。

##### ② 連合青年団

- 公民館及び各種団体との連携を図り、地域の活性化に努めた。
- スポーツ活動・ボランティア活動等を通じて、団員の団結力を強めるとともに、青年団及び地域における指導者を養成する。

(具体的内容)

各地区の公民館まつりや盆踊り、成人式等に参加した。

平成28年度は、マウンテンバイク大会、大学女子ソフト、シクロクロス大会へのボランティアにも多く参加した。また7月にはソフトバレー大会、3月にはバブルサッカー大会を開催し、団員の交流を図った。

##### ③ P T A 連合会

- 会員の質的な充実を図るため、P T A活動の推進に努めた。
- 地域の良さを生かしたP T A活動の推進に努めた。
- 教育諸条件の整備充実に努めた。

(具体的内容)

5月にP T A大学の開校式を行った。年4回実施し、76名の受講者があった。7月は役員合同研修会を実施し、八幡浜市出身のキャスター清家夕貴さんによる講演と分科会別の協議を行った。8月は、日本P T A全国研究大会徳島うずしお大会に20名参加し、

研修を深めた。11月には愛媛県PTA大会に25名参加した。また、1月には八幡浜市PTA研究大会を開催し、249名の参加があった。研究大会では、「愛の手で未来を築くPTA」をテーマに、子どもを伸ばす親の姿について考え、相互の理解と交流を深めた。その際、「笑って元気～家族が一番～」と題した矢野大和さんの講演、「子は鎧(かすがい)」と題した古今亭志ん八さんの落語を行っていただき、地域あげての子育ての大切さについて学んだ。

## (2) 家庭教育推進事業の実施

平成19年度から県の指導により立ち上げた「八幡浜市家庭教育推進協議会」も平成22年度をもって解散となり、平成23年度からはメンバー各自がボランティアとして活動していくことになった。

平成25年度からは、「愛媛県学校・家庭・地域連携推進事業」の補助を受け、子育てボランティア団体による家庭教育支援活動として家庭教育に関する子育て講座を開催。平成28年度は保育園や小学校など10カ所において開催した。

今後も、ボランティア団体と連携を図り、子育て支援活動を推進する。

## (3) 生涯学習支援ネットワークの充実

「浜っ子人材銀行」と「浜っ子サークル銀行」の発行（隔年更新）をしており、地区公民館をはじめ関係機関への配布を行うとともに、「八幡浜市子どもセンター」のホームページにも掲載し広く市民に周知するなど、学習活動の支援を行った。

### 【事務事業点検評価委員意見】

- 生涯学習の推進・充実を図ることは、市民の生きる喜び・活力につながり、多様化する社会の中で継続していかなければならないと思う。
- 少子・高齢化、組織離れが進む中、婦人会、青年団のボランティア活動には感心します。今後は遊び的要素も取り入れた皆が気楽に参加できる活動を通じ、地域の活性化、団体の団結力を強めていただきたい。
- PTA活動については、今後も青少年センターとの連携をスムーズにしていただき、会員の更なる資質向上に努めていただきたい。
- 家庭教育の推進については、他部署との連携を含め子育て支援活動に努めていただきたい。
- 「浜っ子人材銀行」等は、もっと広く市民に周知していただき、ネットワークが図れるようお願いしたい。

【自己評価】

- 多様化、高度化する社会の中で、中央公民館及び保内別館を社会教育の拠点とし、利用者の自発的な学習意欲の高揚と多様化に対応する学習の場であるよう努め、今後更に高度化するであろう要望に応えると共に利用者の利便性を図っていききたい。
- 若者に限らず集団から個での活動を好む人が増えている中で、婦人会や青年団として活動を継続して行く事も難しくなっているが、集団ならではの楽しさ等も再認識出来るような活動も取り入れていききたい。
- 「愛の手で未来を築くPTA」～愛顔(えがお)あふれる子どもたちとともに～を活動方針として、児童生徒の健全育成、会員の意識と連帯感の向上、人権教育の充実、読書活動の推進等に取り組んできた。今後も会員の意見を尊重しながら、相互の連携や研修活動の充実に取り組んでいきたい。なお、市PTA連合会事務局として、今後も市PTA連合会本部役員の意向や単位PTAの意見を十分に生かした連携及び運営に努めていきたい。
- 家庭教育の推進については、指導者の後継者育成が急務となっているが、行政の子育て支援部局、各機関と連携協力し、今後も効果的に進めていきたい。
- 浜っ子人材・サークル銀行に関しては、事務局を仲介せず直接やり取りを行っているため詳細な利用状況は把握できていないが、今後も引き続き地区公民館と連携し広く市民へ周知していきたい。